



～ マンゴー「アーウィン」の管理作業 ～

●今年のマンゴー栽培について

今年は、全体的に遅咲き傾向にあります。これに伴って、父島・母島共に果実肥大が遅れています。これは花芽分化期(11～1月)の気温が高かったことが原因でしょう。特に12月は観測史上最高の22.7℃で、1月も2位となる20.2℃でした。昨年度の研究成果を当てはめると、収穫時期が8月にずれ込むことが予想されます。6月頃から着果しなかった樹や枝を剪定し始め、8月末までに全剪定を終わらせて、来年の着果を促します。

●春の作業(3～6月)

日に当たるように花梗を誘引します。結実後は施肥し、実の肥大を促すとともに、灌水量も増やしましょう。実が重くなってきたら葉50枚あたり1果ほどになるよう摘果し、日に当たるように、残した実を誘引します。

●夏の作業(7～8月)

実に袋をかけ日焼けを防止し、収穫を待ちます。袋内に落ちてから収穫すると、風味豊かな完熟果になります。また、完熟手前の、果皮が一部鮮紅色になる頃に収穫すると、輸送時に傷みにくくなります。更に、輸送中に追熟します。なお、緑色果は追熟しません。

収穫後はすぐに剪定を終わらせます。剪定には、栄養の流れる先を減らすことで、花芽を着きやすくする重要な効果があります。ただ短く切るのではなく、今後枝になる芽がどの位置にあるかを把握し、どのような樹形にしていくか考えながら切る必要があります。

●秋の作業(9～12月)

9月からは水平誘引を行います。枝が上を向いていると秋に新梢が出やすくなり、新梢に栄養が取られるため翌春の花芽がつきにくくなります。そのため枝を水平に誘引して新梢発生を抑えます。11月頃からは断水処理を行い、寒風を入れ、花芽形成を促します。

●冬の作業(1～2月)

2月頃から花芽が伸び、開花が次々起こります。施肥し、灌水を再開します。授粉昆虫を寄せるためには様々な方法がありますが、穴をあけた容器に油粕と水を入れ、樹のそば



完熟果の色

に置いておく方法が手軽です。時々振ると効果が上がります。花が咲く前までに、用意しましょう。

<マンゴー担当：北山>

今年度の農業者セミナーの開催について

今年度の農業者セミナーは、2回程度開講予定です。初回は野菜情報をテーマに計画中です。また、皆様に役立つセミナーとするため、その他テーマについてはリクエストをいただき検討したいと考えております。ご要望テーマがありましたら、農業センター及び営農研修所までご意見をお寄せください。各回の詳細は決まり次第、「村民だより」等でお知らせ致します。

～平成31年度(令和元年度)試験成績概要～

1. カンキツ類の小笠原における生育特性の把握

●「小笠原オレンジ」有望系統の繁殖方法の検討

小笠原オレンジ系統の育苗には接ぎ木が適し、取り木は適しませんでした。接ぎ木に用いる台木としては、「ブンタン」、「ダイダイ」ともに利用可能です。(田邊)

2. 新たな資材活用による栽培技術の開発

●「菊池レモン」の果実間接触部分における着色不良抑制方法の再検討

着色不良抑制のために果実接触部分に挟み込むスチレン系ポリマー製の透明シートは5mm以上の厚さが適し、できるだけ長期処理する程効果が期待できます。5mmシートは2シーズン目も使用できます。(田邊)

3. その他特産果樹における新たな可能性の検討

●パッションフルーツにおける冬期マルチ栽培の効果について

農POを用いて全面被覆することで、地温の低下を抑制でき、開花盛期・収穫盛期を10日間程前進化できます。しかし、果実重がわずかに減少し、土壌が常に湿潤であるため根に悪影響を及ぼす可能性があります。(中村)

●マンゴー「アーウィン」の小笠原での収穫時期予測(収穫1・2年目)

小笠原諸島父島での、開花初日から収穫初日までの積算気温は、3100℃日程度です。これをアメダス父島のデータを活用して積算すると、3000℃程度になります。(北山)

●パッションフルーツの摘花による果実品質への影響について

非電照施設平棚栽培において、摘花により着果数を半減させると、果実重が16.2g(増加率21.2%)増加し、果実の大玉化が可能です。(中村)

●施設パッションフルーツにおける8・9月獲り栽培の検討

10月あるいは3月に定植することで、8・9月に収穫することが可能です。しかし、一般的な作型と比較して収穫量および果実品質は大幅に低下します。(中村)

4. 公共工事に利用可能な自生種の選定および利用技術の開発

●法面緑化工事への利用が期待される草種の根域特性

ムニンナキリスゲは根の伸長が緩慢な上、根が広がらない性質があるため、雨水が流れ込む40度以上の急斜面に定植すると、流亡しやすくなります。比較的雨の少ない1～3月に定植し、土壌侵食の軽減措置を行うことで、定着を促進できます。(北山)

●根域制限技術を活用した街路樹の巨木化抑制方法

モモタマナは容量200Lの防根シートで根域制限処理を行うと樹高が抑制されます。一方で、ヒメツバキは定植4年目まででは抑制効果がみられません。なおヒメツバキは防根シート等で根域を制限すると、主幹が太くなり、生育が良好となります。(北山)

5. 種苗生産技術の開発

●植生回復に有望な小笠原自生種9種の挿木時期の検討

自生種の挿木増殖においては、シマギョクシンカは3月挿しが、オオバシマムラサキやシマカナメモチは6月挿しが、タチテンノウメやシャリンバイ、ムニンズミモチは9月挿しが、シマムロは12月挿しが適しています。（北山）

●植生回復に有望な小笠原自生種9種の挿木条件の検討

自生樹種9種を挿木する際の挿し床は小笠原赤色土表層土が良好でした。挿し穂の断面直径は10mm以上が発根しやすいですが、5mm以下の細さでも発根に至るものがあります。（北山）

6. 小笠原諸島自生種による公共工事利用技術の開発（終了課題）

モモタマナは、根域制限すると巨木化を抑制できます。ムニンテンツキ等の自生4草種は法面緑化に使用できます。またコゴメスグ種子は10℃で3ヵ月程度保存できます。モクマオウ下で良好に生育する自生9樹種のうち7種は、挿木増殖が可能です。（北山）

7. 野菜・果樹・花き・切り葉類の生産性向上

●ミニトマトの有望品種の特性把握

「甘っこ」に比べて、「キャロルスター」は裂果が少なく、上物果の収量が高くなります。一方、「ピッコラルージュ」の収量および上物果率は低くなります。（五十嵐）

●パッションフルーツ収穫作業における洗濯バサミを利用した省力化技術の検討

パッションフルーツ栽培の省力化を目指し、慣行の袋掛けの代わりに洗濯バサミを使用したところ、落下による果実の損失は僅かに多くなりますが、果実の品質を変えずに、作業時間を約8.3時間/a短縮できます。

（五十嵐）

●マンゴー「アーウィン」収穫期の果実品質および収穫後の糖度と酸度の変化

営農研修所の2019年産果実について、「アーウィン」は収穫盛期に最も糖度が高くなり、収穫後の貯蔵温度の違いにより減酸速度が変わりました。（近藤）

●施設栽培ミニトマトのマメハモグリバエに対する各種殺虫剤の効果

母島のマメハモグリバエに対し、シアントラニリプロール水和剤とエマメクチン安息香酸乳剤の効果が高く、次いで、アセタミプリド水溶剤とスピネトラム水和剤も効果があります。いくつかの剤では感受性が低下していると考えられます。（五十嵐）

●誘引トラップによるアフリカマイマイ防除の現地検討

アフリカマイマイ誘引トラップの実用性を現地で検討したところ、高い捕獲効果が認められ、防除事業の効率化に資すると考えられます。（五十嵐）

農業センターニュースと試験成績概要は小笠原亜熱帯農業センターのホームページにも掲載しております。

検索 小笠原支庁 → 小笠原亜熱帯農業センター → 農業センターニュース・試験研究成果概要

～ 着任職員の紹介 ～

いわた みほ
岩田 美歩 農芸員



4月より会計年度任用職員として着任いたしました岩田美歩と申します。小笠原に来て約三年になります。植物に携わる仕事に就くのはこれが初めてです。小笠原の固有種や外来種についてなど知らないことも多く、農業についても素人ですが、これから知識と経験を増やし少しでも貢献できるよう努力し、頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

担当の紹介

令和2年度の農業センターの分担が決まりましたのでお知らせします。所長の吉原は全体の総括。田邊は果樹主担当でカンキツ類を担当します。北山は自生種主担当で他にマンゴーとレイシを担当します。飯塚は病害虫主担当で、他にパッションフルーツ、当ニュースの編集を担当します。ご質問、ご要望は各担当者が承りますのでよろしくお願い致します。

俾任・異動

令和2年4月1日付けで研究員の中村は東京都農業振興事務所（立川市）へ異動し、産業課産業担当より瀬堀が農業センターに会計年度任用職員として着任致しました。また、農芸員の大石が退職致しました。

土壌診断のお知らせ

効率の良い土作りのため、土の定期診断を受けましょう。野菜では次作の畑の準備をする前、果樹では収穫が終わって施肥をする前がチャンスです。

一握り程度の土を採り、ゴミやホコリ等を取り除き、よく乾かして、できれば目合い5mm程度のフルイを通して、紙封筒（提出場所で配布）に入れて、お名前、連絡先、畑の場所等を記入して下記の期限までに提出して下さい。

☆提出先 父島は農協父島支店、母島は農協母島店です。

	土壌試料提出期間	診断結果のお知らせ
第1回	6月15日（月曜）～6月26日（金曜）	7月中旬
第2回	7月27日（月曜）～8月7日（金曜）	8月下旬